

たじみん昼話 50

痛みを知ることは、優しさを身に付けるため

人は、様々な事で傷つきます。その原因が誰かの言葉だったり、メディアの中の対象が自分ではない人に対する中傷でも傷つくことがあるでしょう。

そのときそのときの気分や経験によって、その言葉の受け止め方は違うので、そのときは傷つかなくても、別のときに思い出して傷つくこともあるでしょう。

そんな自分を弱いと否定したり自己卑下したりして、劣等感にさいなまれて自己嫌悪に陥る人も数多くいます。

でも、痛みを知ることは、生きる上でとても大切な事なのです。

痛みを知ってこそ優しさが理解できるです。優しさの有難さが分かるのです。そして他の人への優しさがそこから生まれるのです。

その優しさはあなたの心を癒します。そして、将来あなたが出会うであろう、困っている人や大切にすべき人も癒し、救うものになるのです。

出来ることなら痛みを経験しないで過ごしたいと思うかもしれませんが。でも、傷ついた気持ちにしか真の優しさを創り出すことはできないのです。だから、傷ついた気持ちに対して、クヨクヨしてもいいのです。忘れられなくてもいいのです。

それが、あなたを優しくし、人として成長させるのだから。

「多治見高校の生徒は親切で優しいですね。」本日、この言葉を、ご近所のご婦人からいただきました。

良いね多治高生！